

# 住宅からの CO2 排出実態調査 報告書

平成 29 年 3 月

川口市地球温暖化防止活動推進センター

# 1 目的及び実施について

## (1) 背景及び目的

家庭から排出される二酸化炭素の排出実態を把握するため、全国地球温暖化防止活動推進センターでは、平成 27 年度、全国にある地域地球温暖化防止活動推進センターに呼びかけ、「日常生活に関する温室効果ガスの排出実態調査」を実施した。川口市地球温暖化防止活動推進センターではこの依頼に応じ、川口市内の家庭における調査を実施した。

## (2) 調査の実施概要

### ①調査方法

- ・調査期間：平成 27 年 8 月～平成 28 年 2 月
- ・調査対象：川口市民
- ・募集：「広報かわぐち」9 月号、ホームページ等
- ・調査内容：一般住宅の設備実態調査

**住宅からのCO<sub>2</sub>排出実態調査モニター**

家庭からの温室効果ガス削減のため、住宅の現状を把握するための調査です。

**定**100世帯(先着順)  
※ご協力いただいた世帯にはクオカード500円分を贈呈。

**対**市内在住のかたで8月～平成28年2月のエネルギー消費量を報告できる世帯。

**調査内容**：住宅の設備導入状況、エネルギー消費量(電気・ガス・灯油)

**申請**川口市地球温暖化防止活動推進センター ☎048(22)9050

### ②申込者数：78件

回答者数：70件 (有効回答数：61)

## 2. 調査結果

### ①世帯構成の内訳について

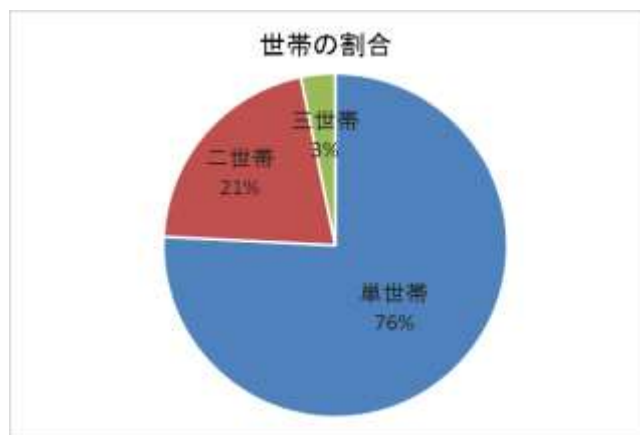
世帯構成の内訳については、40代が一番多く、次いで60代、70代の順に多くなっている。性別は、ほぼ男女半々であった。

(単位：人)

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
19	27	8	17	37	18	35	28



世帯人数の割合では、2人世帯が一番多く、次いで3人世帯、4人世帯であった。  
 世帯の割合では、単世帯が4分の3を占めていたが、二世帯も約2割あった。



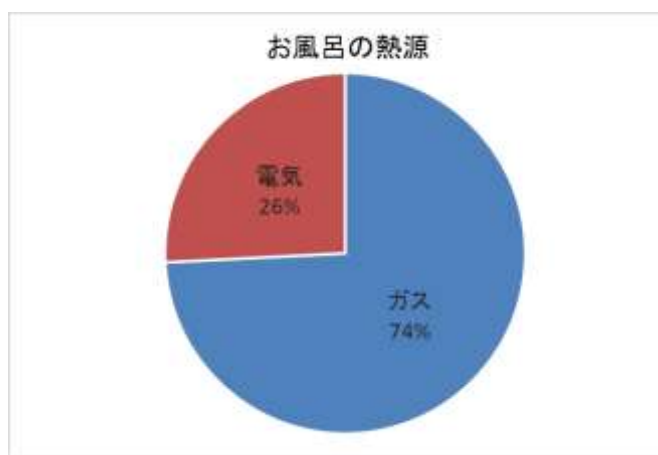
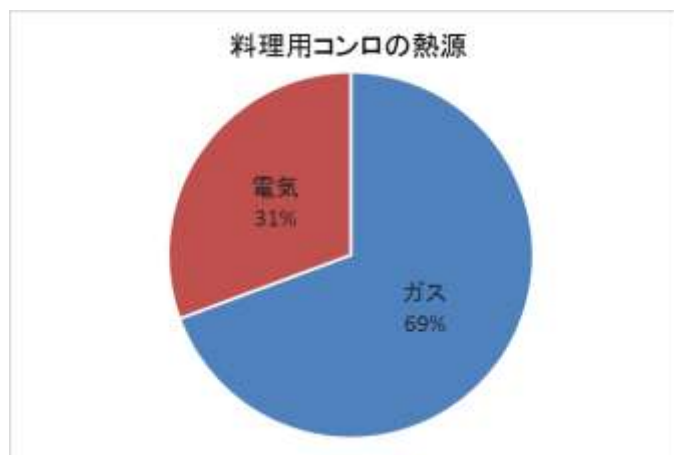
②ガスの種類について

ガスの種類について、「都市ガス」が50%、「LPガス」が27%となっている。



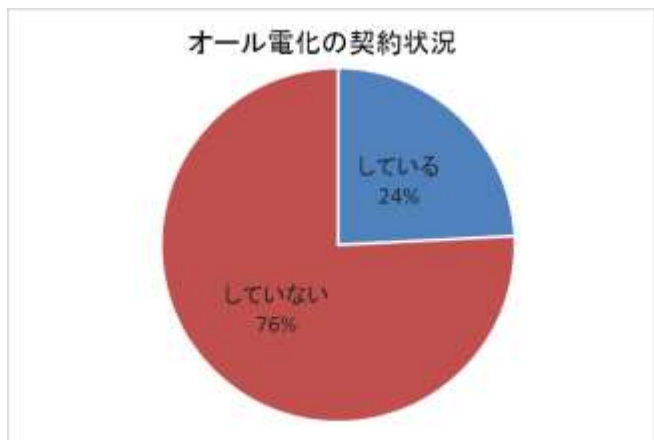
③調理やお風呂の熱源について

料理用コンロの熱源は、「ガス」が69%、「電気」が31%、  
 お風呂の熱源は、「ガス」が74%、「電気」が26%となっている。



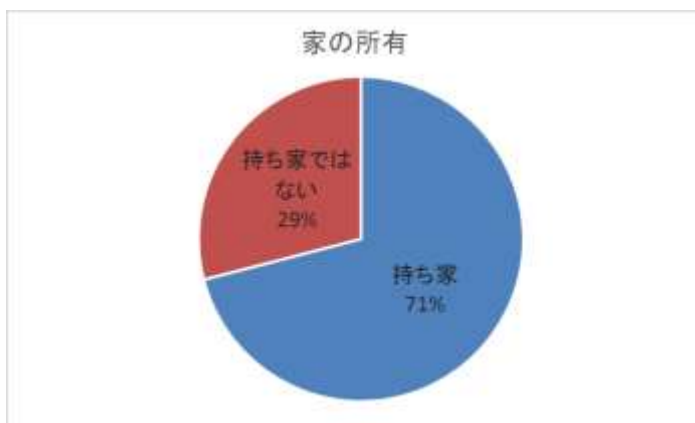
④オール電化向けの契約について

オール電化の契約を「している」世帯は24%と、2割を超えている。またオール電化契約世帯の給湯器の熱源は、「エコキュート」が67%となっている。



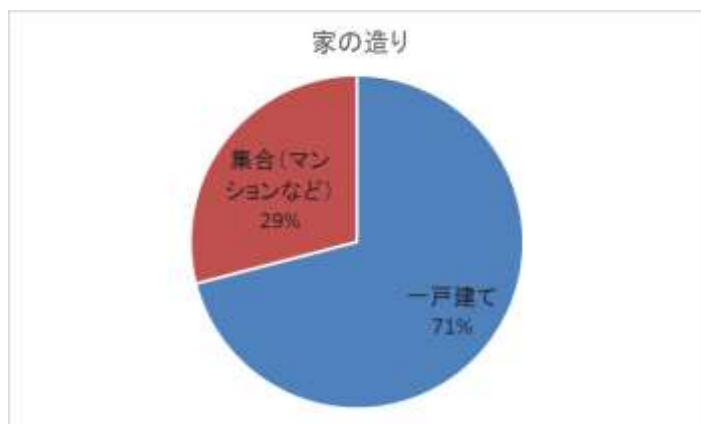
⑤家の所有について

家の所有について、「持ち家」は71%と、7割を超えている。



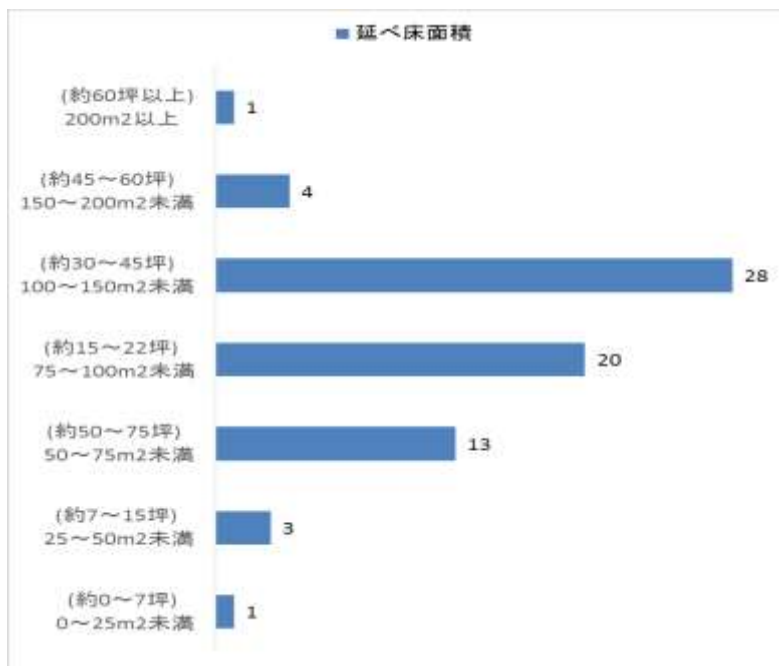
⑥家の造りにについて

家の造りにについて、「一戸建て」は71%、マンションなどの「集合住宅」は29%であった。



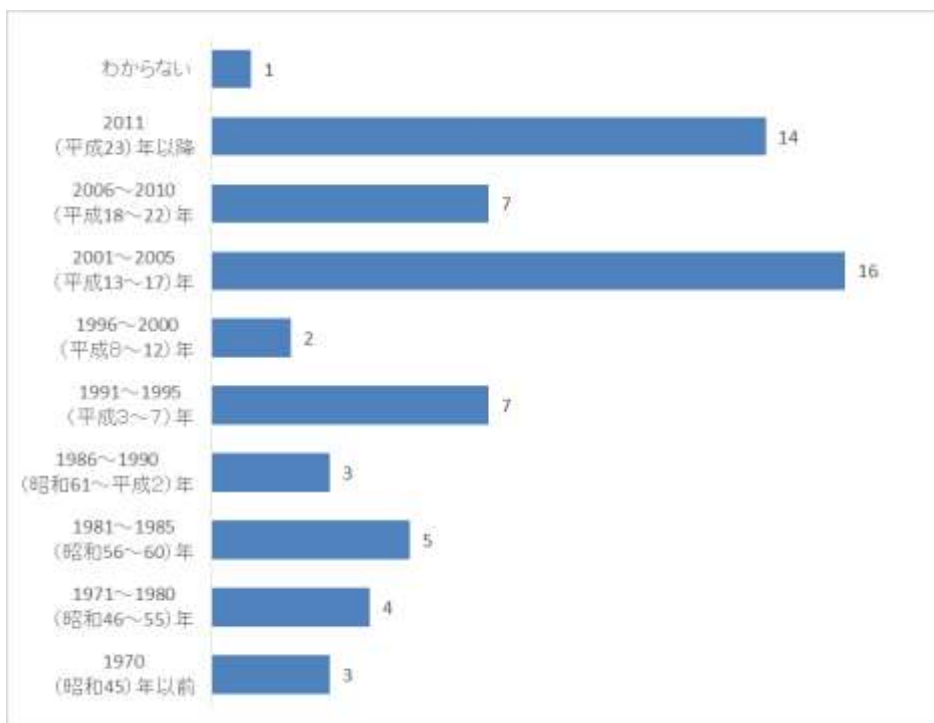
### ⑦延べ床面積について

「100～150m<sup>2</sup>未満（約30～45坪）」が最も多く、次いで、「75～100m<sup>2</sup>（約15～22坪）」となっている。



### ⑧建築年代について

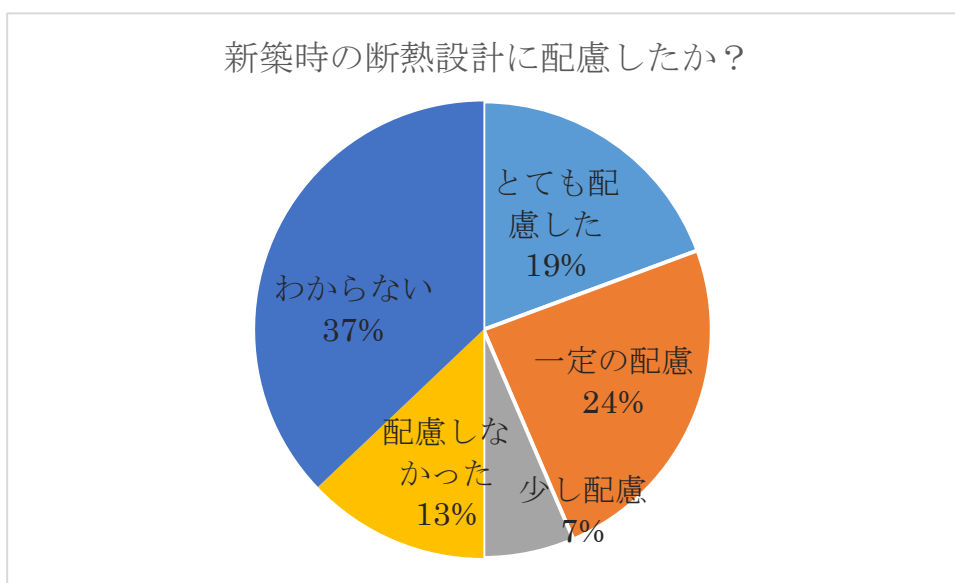
「2001年～2005年（平成13年～17年）」の建築物の件数が最も多く、次いで、「2011年（平成23年）以降」となっており、比較的新しい建物が多い。



⑨太陽熱温水器、太陽光発電の設置状況について  
太陽熱温水器を「設置している」世帯は6%、  
太陽光発電を「設置している」世帯は29%と約3割を占めていた。

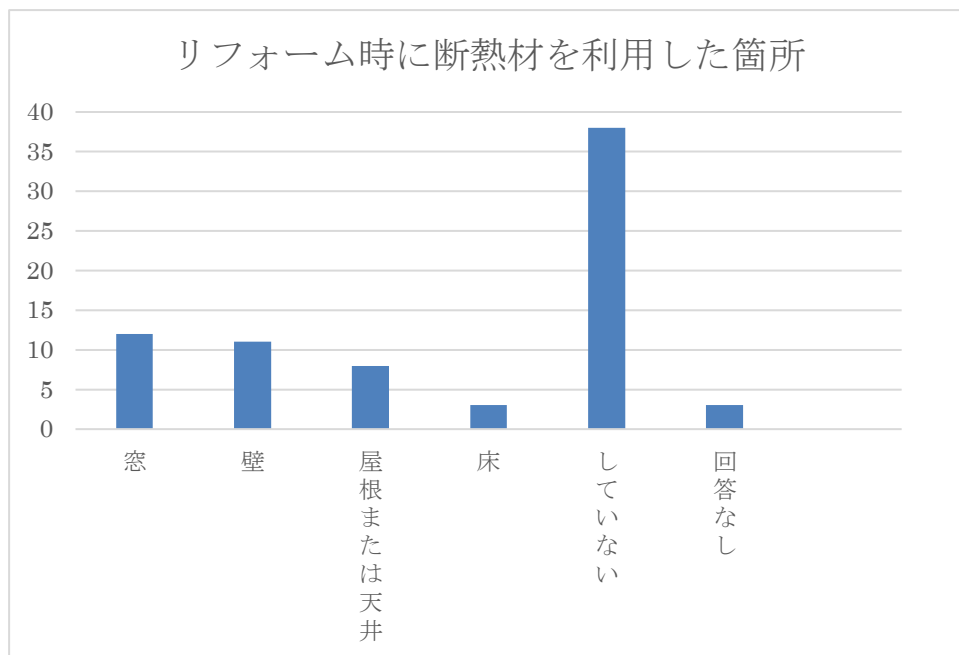


⑩新築時の断熱設計の配慮について  
「一定の配慮をした」が24%と最も多く、次いで「とても配慮した」が19%であった。また、「配慮しなかった」世帯も13%あった。



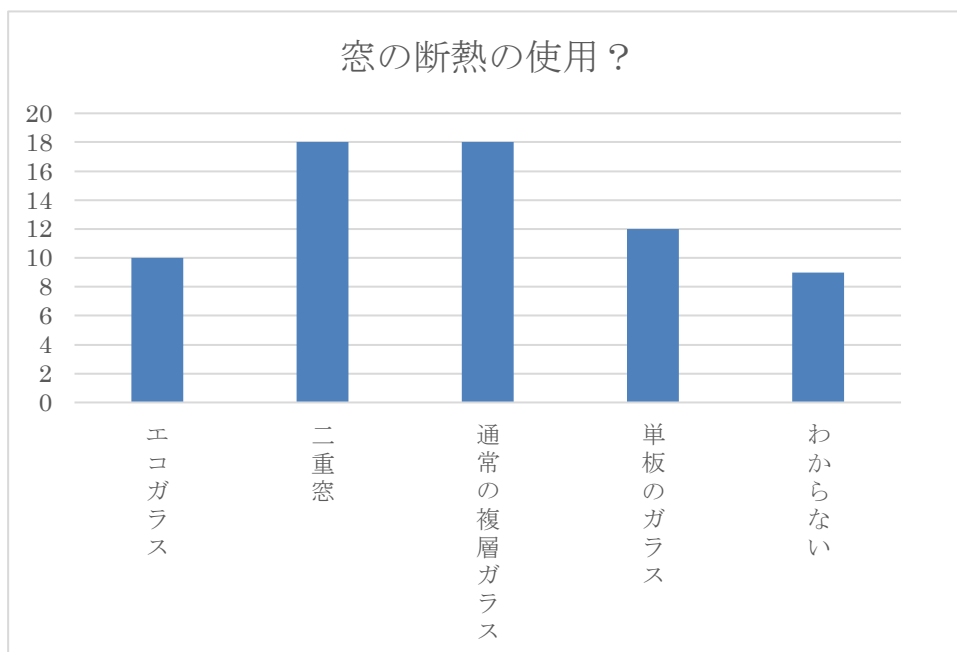
### ⑪断熱リフォーム箇所について

「していない」が一番多かったが、している世帯では「窓」と「壁」が多かった。



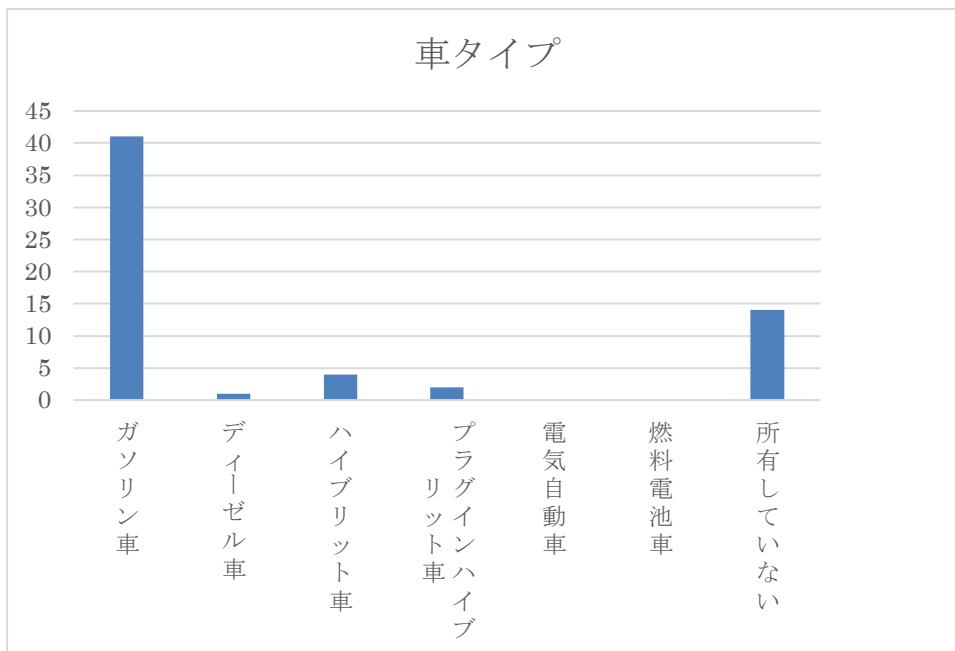
### ⑫窓の断熱について

「複層ガラス」「二重窓」が最も多く、次いで「エコガラス」となっていた。



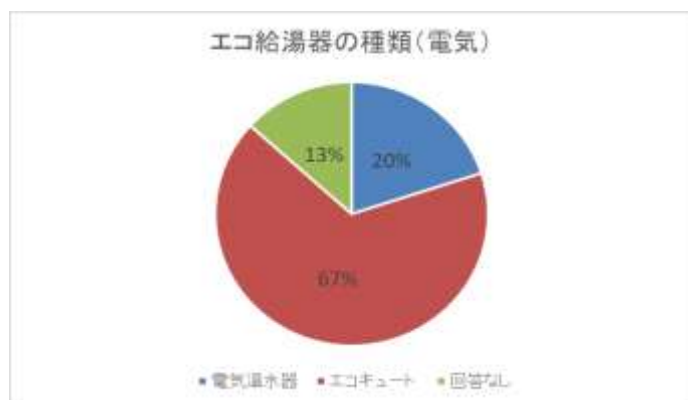
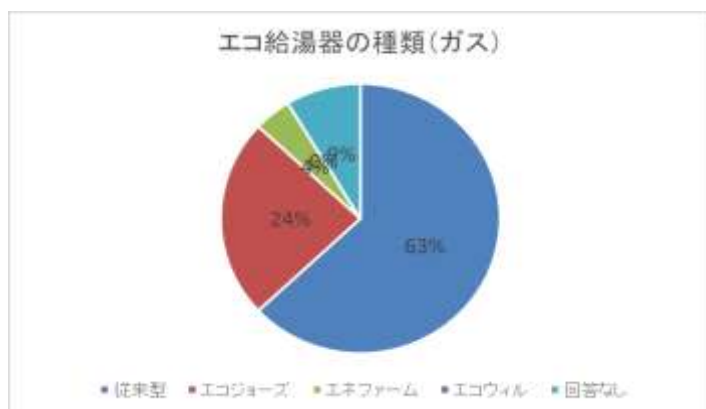
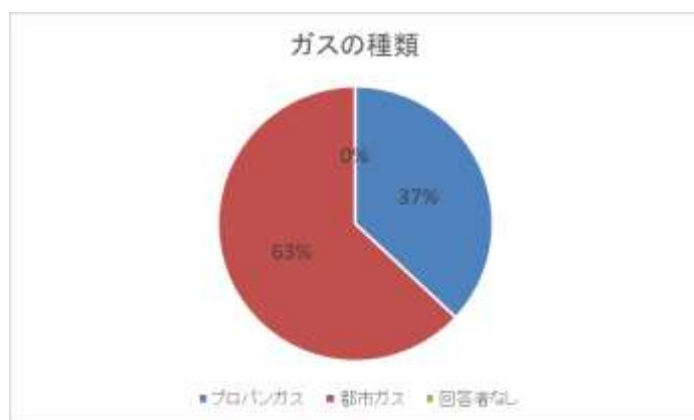
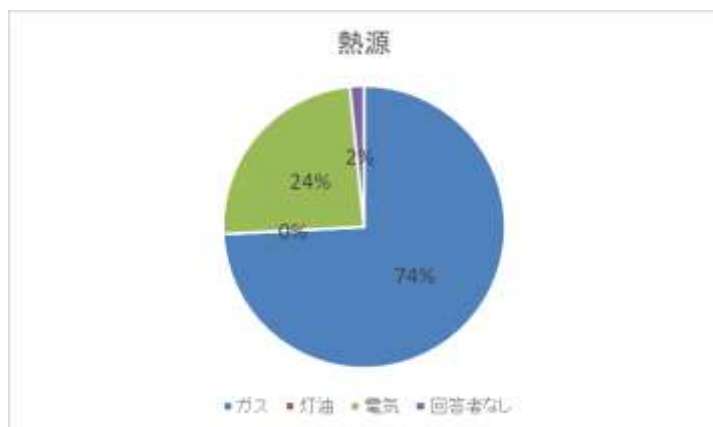
⑬自動車のタイプについて

ガソリン車が最も多く、エコカーはまだ浸透していない。



⑭給湯器の種類

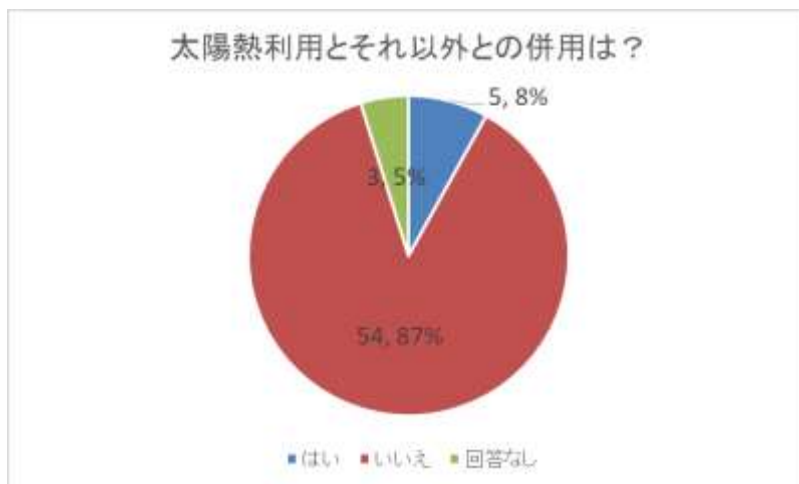
「ガス」を熱源としている家庭が最も多く、ガスは「プロパン」が63%、「都市ガス」が37%であった。





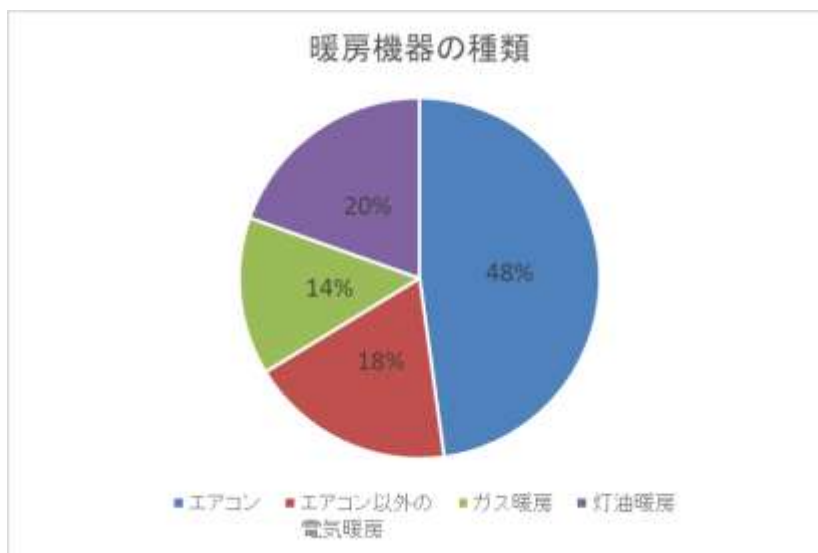
⑮太陽熱の利用について

55%の世帯では、太陽熱利用以外の併用は無かった。



⑯暖房機器の利用について

暖房に「エアコン」を利用している世帯は約半分の48%、次いで「灯油」20%、「エアコン以外の電気暖房」18%、「ガス暖房」14%であった。



⑰照明について

「蛍光灯」の利用が最も多く38%、次いで「LED照明」33%であった。

